

標題 平田柿部会で恒例の柿全園巡回が開催されました！！

(ダイジェスト)

JAしまね出雲平田柿部会（部会員93名）は8月3日に部会役員、事務局（JAしまね出雲地区本部）、NOSAI島根、県庁、農業技術センター、出雲農業普及部などの関係機関が参加する全園巡回を開催しました。果実肥大と着果量はほぼ平年並みであることを確認しました。

全園巡回では部会役員、事務局（JAしまね出雲地区本部）、NOSAI島根、県庁、農業技術センター、出雲農業普及部などの関係者35名が8班に分かれ部会員93名全員の圃場を巡回しました。着果量、果実肥大、日焼け状況、樹勢、夏枝管理、採光環境、病害虫の発生状況等を調査しました。

調査の結果、肥大状況は、平均果径で西条44.1mm（前年比93%、平年比99%）、富有63.0mm（前年比98%、平年比102%）、伊豆61.2mm（前年比99%、平年比104%）と昨年を下回るも平年並み、日焼けも一部発生している樹もありましたが、高温小雨の本年にしては少ない傾向でした。また、着果量も豊作だった昨年を1割程度下回るものの平年並みであることが確認されました。

調査結果を受け、今後の天候に注意しながら日焼けの状態を確認し、当面の摘果は平年の基準で行い、9月上旬に再度、状況を判断して対策を検討することになりました。

部会では、今回の調査結果に今後の管理のポイントを記載した資料を個々の生産者に返し、当面の管理の徹底を図ることにしています。



巡回前の調査項目の目合わせ



巡回風景